



平成 29 年 3 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社やまぜんホームズ
(コード番号 1440 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役 前野 一馬
問合せ先 常務取締役 浅野 豊美
T E L 0594-48-5224
U R L <http://www.yamazen-k.co.jp>

事業計画の概要について

【売上高及び損益計画】平成 29 年 7 月期

(単位：千円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1 株当たり 当期純利益
平成 28 年 7 月 期 (実績)	4,553,303	98,759	75,405	34,870	23.25 円
平成 29 年 7 月 期 (計画)	5,776,426	128,461	84,332	53,052	35.37 円

【平成 29 年 7 月期業績予想の前提条件】

(1) 当社全体の見通し

わが国経済は、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、わが国の景気が下押しされるリスクがあり、先行きに注意を払う状況となりました。

このような状況の中、住宅業界におきましては、雇用・所得環境の改善が続いているほか、住宅ローンの低金利の継続、住宅取得資金贈与の非課税措置の拡充等の諸施策が講じられたこと等で、新設住宅着工戸数は、持ち直しの傾向が続いております。

平成 29 年 7 月期においては、平成 28 年 9 月に三重県津市に津営業所(Yesta!津)、平成 29 年 1 月に滋賀県湖南市に湖南営業所(Yesta!湖南)を開設するなど、営業エリアを拡大しており、主に戸建住宅事業の売上増加が見込まれます。

(2) 個別の前提条件

①売上高

戸建住宅事業におきましては、コア商品である「わんこパック(※)」を柱に顧客層の拡大を積極的に行います。また、当社の強みを活かせる新規エリア(三重中勢・三重南勢・滋賀)の販路拡大を狙うことにより、5,258,000 千円(前期比 18.7%増)と予想しております。

飲食事業は、平成 28 年 5 月に飲食業を営む(株)Inspire Japan を合併したことにより承継したもので、顧客管理の徹底でリピート率のアップ、独自メニューの開発、認知度アップのための継続的な販促活動を実施することにより、464,426 千円(前期は売上高 82,848 千円)を見込んでおります。

その他売上では、介護事業で 40,000 千円に賃貸物件収入と代理店収入を加えて 54,000 千円(前期比 25.0%増)を予想しております。

この結果、売上高は、5,776,426 千円(前期比 26.8%増)を予想しております。

※「わんこパック」とは

「選べる楽しさとフリープランの住まい」をコンセプトとした当社の主力商品です。延べ面積 32 坪範囲内なら間取りを自由に設計でき、カーテンや照明、オール電化の設備等を含む建物全体の販売価格が 1,500 万円(付帯工事費含む)のプランとなっています。

②売上原価、売上総利益

平成 28 年 7 月期の売上原価率を考慮して見積もっております。

この結果、売上総利益は 1,681,772 千円(前期比 39.9%増)と予想しております。

③販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、平成 28 年 7 月期の実績に新規営業所(津、湖南)開設に伴う人件費の増加や株式公開費用を考慮し 1,553,311 千円(前期比 40.7%増)と予想しております。なお、株式公開費用につきましては、23,000 千円を見積もっております。

この結果、営業利益は 128,461 千円(30.1%増)と予想しております。

④営業外損益、経常利益

営業外収益につきましては、平成 28 年 7 月期の実績を考慮して見積もっております。営業外費用につきましては、金融機関への支払利息を考慮して見積もっております。

この結果、経常利益は 84,332 千円(11.8%増)と予想しております。

⑤当期純利益

法人税等の 1,500 千円を控除した結果、当期純利益は 53,052 千円(前期比 52.1%増)と予想しております。尚、平成 29 年 7 月期につきましては、(株)Inspire Japan の合併に伴う、繰越欠損金の引継ぎにより、法人税額が少なくなっております。

以上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価及び投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保障するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれらに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他多様な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。